

## 5 天然酵母飲料「酵母バイオMT7000」の免疫異常に対するホメオスタシス促進効果

○大西秀典

(ストレスクリニック・おおにし内科)

多田龍生 (第一酵母株式会社)

### [目的]

天然酵母発酵飲料「酵母バイオMT7000」の食効にホメオスタシス促進効果を認めている。今回ホメオスタシス・システムの主要なサブシステムである免疫系に与える影響を明らかにするために、飲用臨床試験を行った。

### [方法]

酵母バイオ製品を過去3ヶ月以上飲用したことのない、免疫異常を持つ成人男女9名を対象とした。免疫異常の内訳は、アレルギー性疾患5名(内2名は癌を合併)、癌5名、膠原病1名。酵母バイオMT7000を1日20mlから始め、6日目に80mlになるように漸増し、以後1日60~80mlを7週間に渡って飲用させ、飲用開始日、飲用終了日に血液検査を施行した。

### [結果]

IgGは飲用前後で有意な増減を認めなかった。IgGが飲用前に高値を示したのは2名あり、うち1名は膠原病(SLE)患者で、これは飲用後に、IgGの低下を認めた。IgEは飲用前正常群は飲用前後で有意な増減を認めなかったが、飲用前高値群は飲用後に有意な減少を認めた。リンパ球幼若化反応は飲用後に有意な増加を認めた。

### [結論]

酵母バイオMT7000の飲用により、血中抗体の総量に近似するIgGは飲用の前後で変化を認めなかった。しかし、膠原病患者では飲用後にIgGの減少を認めた。IgEはアレルギー疾患群において、飲用後に有意な減少を認めた。細胞性免疫活性の指標のひとつであるリンパ球幼若化反応が、飲用後に有意な増加を認めたことより、IgEの減少は、サブレッサーT細胞の活性亢進により、IgEの産生が抑制されたと推測される。癌患者群においてはリンパ球幼若化反応が飲用後に増加していることより、細胞性免疫の活性化が認められ、抗腫瘍作用が期待された。以上より酵母バイオMT7000は免疫異常に対するホメオスタシス促進効果を認めた。